

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【公開番号】特開2019-75092(P2019-75092A)

【公開日】令和1年5月16日(2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2019-018

【出願番号】特願2018-158853(P2018-158853)

【国際特許分類】

G 06 F 16/00 (2019.01)

G 06 F 3/0482 (2013.01)

【F I】

G 06 F 17/30 3 8 0 D

G 06 F 17/30 1 4 0

G 06 F 3/0482

G 06 F 17/30 4 1 9 B

【手続補正書】

【提出日】令和3年7月29日(2021.7.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マイクロプログラミングプラットフォームのためのコンピュータプログラムであって、前記マイクロプログラミングプラットフォームは、ポストデータを記憶し、グラフィカルユーザインターフェイス(GUI)でのフィードの表示のためにポストを含む前記フィードを生成するよう構成され、前記フィードは、1つ以上のポストを有するフィードアイテムの集合体であり、前記マイクロプログラミングプラットフォームの1つ以上のプロセッサによる命令の実行は、前記マイクロプログラミングプラットフォームに、

マイクロプログラミングポストで公開されるコンテンツを受けることと、

前記マイクロプログラミングポストの要求又は前記マイクロプログラミングポストを含むフィードに応答して、

データプロバイダを識別するデータプロバイダ識別子(DPID)及び該DPIDに関連した前記データプロバイダからデータを取得するためのデータプロバイダパラメータ(DPP)を示す動的コンテンツプレースホルダ(DCP)を前記コンテンツ内で特定することであり、前記DCPは、動的コンテンツが前記ポストに入れられるためのプレースホルダであり、前記DCPは、前記データプロバイダ及び前記DPPのユーザ選択を含む前記ポストを構成したユーザによって定義される、前記特定することと、

前記DCPによって示される前記DPID及び前記DPPを用いて、前記動的コンテンツについて、前記DPIDに関連した前記データプロバイダにクエリを行うことと、

前記データプロバイダから前記データ入手することと、

前記コンテンツ内の前記DCPの位置での前記マイクロプログラミングポスト内への前記データプロバイダから入手された前記データの挿入によって前記マイクロプログラミングポストを生成することと

を実行させるよう動作可能である、

コンピュータプログラム。

【請求項2】

前記 D C P を特定するよう、前記命令の実行は、前記マイクロプロギングプラットフォームに、

前記コンテンツを含むメッセージを受けることであり、該メッセージの本文部分において前記コンテンツが位置することと、

前記メッセージの前記本文部分において前記コンテンツをパースすることと、

前記パースされたコンテンツから D C P フィールドを特定することと、

前記 D C P フィールド内の D P I D フィールドの D P I D 値を前記 D P I D として決定することと、

前記 D C P フィールド内の D P P フィールドの D P P 値を前記 D P P として決定することと

を実行させるよう動作可能である、

請求項 1 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 3】

前記命令の実行は、前記マイクロプロギングプラットフォームに、前記 D C P 値、前記 D P I D 値、及び前記 D P P 値を D C P データベースオブジェクトの対応する記録に記憶させるよう動作可能である、

請求項 2 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 4】

前記データプロバイダにクエリを行うよう、前記命令の実行は、前記マイクロプロギングプラットフォームに、

前記 D C P データベースオブジェクトから前記 D P P 値を取得することと、

前記 D P I D 値を用いて、アプリケーションプログラミングインターフェイス (A P I) への D P I D のマッピングに基づき前記データプロバイダの A P I を特定することと、

A P I パラメータとして前記 D P P 値を用いて前記データプロバイダの前記 A P I を呼び出すことと

を実行させるよう動作可能である、

請求項 3 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 5】

前記データプロバイダの前記 A P I は、 R E S T A P I 、 S O A P A P I 、又は前記データプロバイダに関連したプロプライエタリ A P I である、

請求項 4 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 6】

前記データプロバイダは、前記マイクロプロギングプラットフォームとは別であるプラットフォーム又はサービスプロバイダである、

請求項 1 乃至 5 のうちいずれか一項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 7】

前記データプロバイダは、データベースオブジェクトであり、

前記データプロバイダにクエリを行うよう、前記命令の実行は、前記マイクロプロギングプラットフォームに、

前記データベースオブジェクトのフィールド、レコード、又はデータベースエレメントである前記 D P P を示すクエリエレメントを含むデータベースクエリを生成することと、

前記データベースオブジェクトの記憶を制御するデータベースシステムへ前記データベースクエリを送ることと

を実行させるよう動作可能である、

請求項 6 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 8】

ユーザシステムによって実行される方法であって、

前記ユーザシステムによってマイクロプロギングプラットフォームへ送られるフィードアイテムを含むウェブリソースの要求であり、前記ウェブリソースをリフレッシュ又はフェッチするためのグラフィカル制御要素 (G C E) の選択に応答する前記要求に応答して

前記ユーザシステムによって、前記マイクロプロギングプラットフォームから、前記ウェブリソースを生成及びレンダリングするためのソースコードを受け取ることと、

前記ユーザシステムによって、前記マイクロプロギングプラットフォームと相互に作用するためのマイクロプロギングプラットフォームグラフィカルユーザインターフェイス（M P G U I）のインスタンスを生成しレンダリングすることと

を有し、

前記M P G U Iは、前記フィードアイテムを有し、前記フィードアイテムは、データプロバイダによってサーブされた動的コンテンツを有し、前記動的コンテンツは、前記フィードアイテムでの動的コンテンツプレースホルダ（D C P）の位置で前記フィードアイテム内に配置され、前記動的コンテンツは、前記D C Pによって示されるデータプロバイダ識別子（D P I D）及び前記D C Pによって示されるデータプロバイダパラメータ（D P P）に基づき前記データプロバイダから入手され、前記D C Pは、前記データプロバイダ及び前記D P Pのユーザ選択を含むポストを構成したユーザによって定義され、前記M P G U Iのインスタンスの生成及びレンダリング時に、更新された動的コンテンツが、前記フィードアイテムでの前記D C Pの位置に入れられ、前記更新された動的コンテンツは、前記M P G U Iの前にレンダリングされ表示されたインスタンスでの前記D C Pの位置にある前記動的コンテンツと比較される、

方法。

【請求項 9】

前記G C Eは第1 G C Eであり、前記M P G U Iは、他のD P P及び他のD P I Dを含む他のD C Pを含むフィードアイテムデータを入力することを前記ユーザシステムのユーザに可能にするオーサリングツールを有し、該オーサリングツールは、前記マイクロプロギングプラットフォームへの前記入力されたフィードアイテムデータの投稿を制御する第2 G C Eを有する、

請求項8に記載の方法。

【請求項 10】

前記第2 G C Eの選択に応答して、

前記ユーザシステムによって、前記ウェブリソースの要求及び前記入力されたフィードアイテムデータを前記マイクロプロギングプラットフォームへ送信することと、

前記ユーザシステムによって、前記入力されたフィードアイテムデータとともに前記フィードアイテム及び他のフィードアイテムを含む前記M P G U Iの他のインスタンスを生成するためのソースコードを受信することと、

前記ユーザシステムによって、前記他のフィードアイテム内の前記他のD C Pの代わりに、前記他のフィードアイテム内の位置に、前記他のD C I Dに関連した他のデータプロバイダから入手された他の動的コンテンツとともに前記フィードアイテム及び前記他のフィードアイテムを含む前記M P G U Iの他のインスタンスを生成しレンダリングすることであり、前記他の動的コンテンツは、前記他のD C Pによって示される前記他のD P Pを用いて新たに入手される、ことと

を更に有する請求項9に記載の方法。

【請求項 11】

前記ユーザシステムによって、オートコンプリートアプリケーションを用いて、前記オーサリングツールのオーサリングパネルに入力されたD C Pインジケータを検出することと、

前記ユーザシステムによって、前記D C Pインジケータの検出に応答してD P I Dの組を示すD C PリストG U Iのインスタンスを生成しレンダリングすることと

を更に有する請求項9又は10に記載の方法。

【請求項 12】

前記ユーザシステムによって、前記オートコンプリートアプリケーションを用いて、前記D C Pインジケータが前記オーサリングパネルに入力された後に該オーサリングパネル

に入力された文字を検出することと、

前記オーサリングパネルに入力された各検出された文字に応答して、

前記ユーザシステムによって、前記オートコンプリートアプリケーションを用いて、前記検出された文字の夫々に基づき D P I D の新しい組を決定し、

前記ユーザシステムによって、前記 D C P リスト G U I が、前記オーサリングパネルに入力された夫々の新しい文字に基づき新しい又は異なった D P I D をポピュレートされるように、前記 D P I D の新しい組を示す前記 D C P リスト G U I の新しいインスタンスを生成しレンダリングすることと

を更に有する請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記ユーザシステムによって、前記示された D P I D の組からの D P I D の選択を検出することと、

前記ユーザシステムによって、前記選択された D P I D に関連した D P P の組を示す前記 D C P リスト G U I の他のインスタンスを生成しレンダリングすることと

を更に有する請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記ユーザシステムによって、前記オートコンプリートアプリケーションを用いて、前記選択された D P I D の選択後に前記オーサリングパネルに入力された文字を検出することと、

各検出された文字に応答して、

前記ユーザシステムによって、前記オートコンプリートアプリケーションを用いて、前記検出された文字の夫々に基づき D P P の新しい組を決定し、

前記ユーザシステムによって、前記 D P P の新しい組を示す前記 D C P リスト G U I の新しい他のインスタンスを生成しレンダリングすることと

を更に有する請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

1 つ以上のマイクロプロギングを含む個別的なマイクロプロギングポスト又はフィードに対する各々のユーザからの個別的な要求を受け取るネットワークインターフェイスと、前記ネットワークインターフェイスと通信可能に結合されるプロセッサシステムとを有し、

前記プロセッサシステムは、受け取られた要求に応答して、

要求されているマイクロプロギングポストのソースコード内で動的コンテンツプレースホルダ (D C P) を特定することであり、前記 D C P は、動的コンテンツが入手されるべきであるデータプロバイダのデータプロバイダ識別子 (D P I D) と、動的コンテンツプレースホルダ (D C P) で前記マイクロプロギングポストに含められるよう前記動的コンテンツを入手するためのデータプロバイダパラメータ (D P P) とを示し、前記 D C P は、前記データプロバイダ及び前記 D P P のユーザ選択を含む前記ポストを構成したユーザによって定義される、ことと、

前記 D C P によって示される前記 D P P を用いて、前記動的コンテンツについて、前記 D P I D に関連したデータプロバイダにクエリを行うことと、

前記クエリに応答して前記データプロバイダから前記動的コンテンツを入手することと、

前記要求されているマイクロプロギングポストにおける前記 D C P の位置での前記入手された動的コンテンツの挿入によって前記マイクロプロギングポストを生成することとを実行するよう動作する、

マイクロプロギングプラットフォーム。

【請求項 1 6】

前記 D C P を特定するよう、前記プロセッサシステムは、

前記要求されているマイクロプロギングポストの本文部分から前記コンテンツを特定し

、

前記コンテンツをパースし、

前記パースされたコンテンツから D C P フィールドを特定し、

前記 D C P フィールド内の D P I D フィールドの D P I D 値を前記 D P I D として決定し、

前記 D C P フィールド内の D P P フィールドの D P P 値を前記 D P P として決定するよう動作する、

請求項 1 5 に記載のマイクロプロギングプラットフォーム。

【請求項 1 7】

前記プロセッサシステムは、D C P データベースオブジェクトの対応する記録における前記 D C P 値、前記 D P I D 値、及び前記 D P P 値の記憶を制御するよう動作する、

請求項 1 6 に記載のマイクロプロギングプラットフォーム。

【請求項 1 8】

前記データプロバイダにクエリを行うよう、前記プロセッサシステムは、

前記 D C P データベースオブジェクトから前記 D P P 値を取得し、

前記 D P I D 値を用いて、アプリケーションプログラミングインターフェイス(A P I)への D P I D のマッピングに基づき前記データプロバイダの A P I を特定し、前記データプロバイダの前記 A P I は、 R E S T A P I 、 S O A P A P I 、又は前記データプロバイダに関連したプロプライエタリ A P I であり、

A P I パラメータとして前記 D P P 値を用いて前記データプロバイダの前記 A P I を呼び出す

よう動作する、

請求項 1 7 に記載のマイクロプロギングプラットフォーム。

【請求項 1 9】

前記データプロバイダは、当該マイクロプロギングプラットフォームとは別であるプラットフォーム又はサービスプロバイダである、

請求項 1 8 に記載のマイクロプロギングプラットフォーム。

【請求項 2 0】

前記データプロバイダは、データベースオブジェクトであり、

前記データプロバイダにクエリを行うよう、前記プロセッサシステムは、

前記データベースオブジェクトのフィールド、レコード、又はデータベースエレメントである前記 D P P を示すクエリエレメントを含むデータベースクエリを生成し、

前記データベースオブジェクトの記憶を制御するデータベースシステムへ前記データベースクエリを送る

よう動作する、

請求項 1 5 乃至 1 9 のうちいずれか一項に記載のマイクロプロギングプラットフォーム。